

令和7年度日高山脈襟裳十勝国立公園協議会

第1回幹事会 議事要旨

■日時:令和7年6月23日(月)13:15~14:45

■場所:中札内村 農村環境改善センター 大集会室(Web 会議システム併用)

■議事概要

1. 開会(司会:北海道地方環境事務所国立公園課長 尼子)

2. 議事

(1)審議事項

1)日高山脈襟裳十勝国立公園ビジョン(案)について

・資料1-1、資料1-2について、事務局より説明。

<質疑等> ※→:事務局

【論点1.ビジョン案の内容について】

○日高山脈源流部のオショロコマを含む魚類について記載されていない。河川生態系における魚類の記述は必要である。

→河川生態系の保全の観点から、オショロコマを例示し、取り上げたい。

○パブコメに意見を出した方も研究者だと思うが、そういった方も含めてヒアリングをしているか。

→地形・地質に関する箇所については、日高山脈に係る博物館等の学芸員2名に個別にヒアリングした。また、この後、公園指定に関するヒアリングをした有識者に本意見についてのヒアリングを想定している。

○自然林生態系という言葉は正しいのか。指定書の表現が誤りではないか。どのような経緯でこの表現になったのかを確認してほしい。

→森林生態系という言葉が一般的に使用されるが、「原生的な自然林生態系」は一般的ではないかもしれない。事務局で確認する。

○自然環境保全基礎調査で使用している用語に統一した方が適切である。一般的に自然林とするのは原生性が高い場合。人の手が入っている場合は二次林とする。二次林の中でも原生性の高い場合は、自然林に近い二次林としている。つまり、原生性の高い自然林という表現は、そもそも重複表現である。

→森林生態系は一般的な用語だが、森林限界を超えた範囲が含まれることから「自然生態系」に修正すべきとの意見だと認識している。自然生態系も不自然という理解でよいのか。

○日高山脈全体を対象とするものとして、一般的に使用されている言葉を使った方

がよい。

→人手が入った林について「原生的な」という言葉を使うことは適切か。

○原生的な生態系は公園内に一定面積あるが、拡張した範囲には二次林も多く含まれるので、もう少し適切な言葉を使った方がよい。意見にある「山腹から稜線を広く覆う自然林」も、自然林という言葉を使うのは不適切と考える。「原生的な」という言葉を使うのであれば、自然環境保全基礎調査等の根拠に基づき正確に使うべき。

○前段の部分で、対象となる生態系は、森林だけではないと思うが、どういう意図で記載したのか。

→国立公園に指定された理由を記載したかった。中央環境審議会自然環境部会での説明を確認の上、修正する。

【論点2.パブコメの掲載について】

○パブコメについて、HPに掲載されているか。

→会議終了後、本会議の議事概要と、パブコメの結果とを合わせて、環境省のHPに掲載する想定。

2)日高山脈襟裳十勝国立公園協議会の今後の進め方について

・資料2について、事務局より説明。

<質疑等> ※→:事務局

○ビジョンのテーマについて、今後どうするのか。

→ビジョン策定にあたり、ビジョンのテーマ及び国立公園のテーマについて、色々なご意見をいただいた。ビジョンの決定にあたってはテーマが必須ではない。今後、本公園の協働型管理運営を皆さんと進めていく中で、目標となるようなテーマが見えてくると思う。それをテーマとしたい。

(2)報告事項

1)日高山脈襟裳十勝国立公園協議会規約(別添2)の変更について

→規約に修正はないが、別添2 幹事会構成員の役職が変更になっている。

○異論なし。

2)令和6年度の各構成員の取組報告について

・報告資料2について、事務局より説明。

○異論なし。

3)令和7年度の各構成員の取組報告・予定について

・報告資料3について、事務局より説明。

→8月に予定している総会に向けて、各構成員の昨年からの取組と、今年度の取組予定について情報を集約したい。後日メールで情報集約の依頼をする。

→イベントについては、概要と実施日を記載いただきたい。

○異論なし。

4)その他各構成員からの報告事項について

- ・報告資料 4(1)について、日高北部森林管理署及び日高南部森林管理署より説明。

- ・報告資料 4(2) について、十勝西部森林管理署及び日高北部森林管理署より説明。

→通行止め箇所については、登山者への周知はどのようにしているか。

○北海道森林管理局のホームページに通行止め等の状況を掲載している。現地では、トムラウシ沢の林道入り口に看板を設置し、注意喚起している。

- ・報告資料 4(3)について、日高振興局より説明。

- ・報告資料 4(4)について、事務局より説明。

- ・報告資料 4(5) について、中札内村より説明。

○携帯トイレを配布、とあるが、回収ボックスはどこに設置するのか。

○日高山脈山岳センターの受付窓口で携帯トイレ・ごみ袋を販売し、使用済みトイレを含む登山中のゴミを持ち帰ってもらい、同センターで回収する取組を今年度から開始した。まだ周知不足であることから、同センターの HP 等で周知を徹底していきたい。

3. その他

→第2回幹事会は9月下旬に開催予定である。時間・方法等の詳細が決まり次第、改めてご案内する。その他、必要な情報については、メーリングリスト等を活用し、情報提供を進める。

4. 閉会